

令和３年度第１回京都市下京区民まちづくり会議② 摘録

日 時：令和３年７月６日（火） １５：００～１６：００
場 所：下京区役所 ４階会議室
出席者：２０名
次 第：１ 開会
 ２ 挨拶（下京区長 山本 亘）
 ３ 議題
 （１）パブリックコメントの結果について
 （２）第３期下京区基本計画（最終案）について
傍聴者：１名

１ 開会

○事務局

- ・本会議は区民と行政が協働で取り組む「下京区基本計画」の策定・推進に向けて御意見をいただくことを目的に開催する。
- ・本日は新型コロナウイルス感染症防止の観点から、開催人数を制限するため、開催時間を２回に分けている。御欠席の方には書面による審議を依頼する。
- ・また、本会議は「京都市市民参加推進条例」第７条に基づき、公開で実施する。

２ 挨拶

○山本下京区長

- ・２年以上にわたって、会長をはじめ、委員の皆さんには熱心に議論をいただき、また第一線で活躍する様々な方の御尽力によって計画を練り上げることができた。改めてお礼を申し上げます。
- ・この間、パブリックコメントによって多くの御意見をいただいた。この貴重な意見を可能な限り活かすため、検討を加えてきた。
- ・本日はその反映したものについて御審議いただき、議論を踏まえて修正を加え、最終的に市長決裁を仰ぎたい。市長に会うといつも「行政だけでつくったプランがうまくいった試しはない」と言われる。そういう意味で、この計画は御意見をいただいた皆さんに自分ごととして英知を結集していただいた計画として、区民の皆さんにも、市長にも自信を持って提示できるものだ。
- ・今後は計画のスローガンに向かってまちづくりを進めたいと思うので、本日の御審議も、また今後の推進においても、御協力をお願いしたい。

○事務局

- ・以後、「京都市下京区民まちづくり会議開催要綱」に基づき、会長に議事進行をお願いする。

3 議題

○会長

- ・本日、事務局から説明を受ける計画案が最終となるので、活発な御意見をお願いしたい。
- ・「パブリックコメントの結果」及び「第3期下京区基本計画（最終案）」の議題について、事務局から説明をお願いしたい。

－事務局より資料3～5について説明－

○会長

- ・説明を踏まえて、御質問、御意見はあるか。

○委員

- ・地域の ICT 化に関して、ピアッツァ（地域 SNS アプリ）の管理において何らかの問題が生じた場合、どのように対応されるのか。

○事務局

- ・ピアッツァは、地域住民が交流できるスマートフォンのアプリケーションで、下京区・南区エリアで開設したもの。事前登録をすれば、自由に投稿ができる。
- ・御懸念のように、中には誹謗・中傷といった投稿がされる可能性があるが、今のところ、そうした投稿は見られない。万一、そうした投稿がされた時には通報機能があり、運営会社が認識すれば削除等の対応を行うことになっている。また、区役所と運営会社で協定を結んでおり、問題が生じないよう注意している。
- ・コロナ禍において、また情報化が進展する中、子どもを取り巻く状況に様々な課題があり、「はぐくみ文化」（戦略2）や「いのちとくらし」（戦略5）などを計画に掲げている。これらについて御意見をいただけないか。

○委員

- ・コロナ禍において懸念するのは、大学を含む小・中・高校生の学力の低下。どれだけ家庭で補助ができていないか。「コロナ世代」など単純に一括りにしても解決できるものではない。また、子どもの虐待、サポートセンターにおける保護も増えている。ポストコロナで社会が正常化に向かう時に不安を覚える。
- ・民泊がインバウンド狙いで増えたが、京都市では高さ規制もあり、既に土地の値段は建築条例に見合うものではない。これは今後も続く根深い問題だと思う。

○委員

- ・計画については、総花的な印象を受けた。それが悪いとは言わないが、例えば推進施策の取組例などは、全てを記載しているように感じる。5年間の重点的なものを出すべきではないか。
- ・スローガンは10年後も同じでよいもので、これも令和3年度～7年の計画で示すも

のであった方がよいのではないか。「これを削除」ということではないが、90以上の取組にプライオリティを今後の下京区民まちづくり会議でつけるといったことが必要ではないか。

- ・コロナの影響でインバウンドが消滅したがポストコロナで戻ってくるだろう。そこでこの5年間は民泊や教育など、インバウンドに対する取組を重点にするということでもよいし、それが計画で見えるような形になるとよいと思う。それが行政のものであれば、さらによい。

○事務局

- ・94の取組例は区役所だけでなく、区民や民間に取り組んでもらうもの、あるいは既に取り組んでいるものだ。また、既存のものもあるが、区役所としては、リーディングプロジェクトに位置付けている取組がこの5年で優先して、あるいは重点的に取り組むものと考えており、14のプロジェクトを記載している。
- ・コロナの影響がある中、また今回は5年の計画ということで、ウィズコロナ、ポストコロナを念頭においた取組例を含めて掲げている。リーディングプロジェクトと取組例を合わせた108の取組の中でも、重点を定め、また区役所だけでなく、下京区に関わるみんなが一緒に取り組んでいくものと考えている。
- ・特に地域コミュニティの役割が重要だと考えており、そのため昨年から続くコロナ禍においても、地域のICT化に取り組んでもらっているという事情もある。これに関して豊園学区の取組を御紹介いただけないか。

○委員

- ・昨年秋から理事会もZOOMでできるよう、詳しい理事を中心に住民向けのZOOM研修会を実施、20名ほどの参加があった。同時に自治会館のデジタル化(wi-fiや光ファイバーの整備等)も進めている。コロナの影響で思うように進まないが、1月にはこの工事が完了している。
- ・今は理事会もリモート開催が可能になっている。また、自治会館は地域にも貸し出しをしており、うまく使う団体も出てきた。
- ・若者世代には当たり前のことかもしれないが、コロナ禍だからということではなく、次世代の人が当たり前にこうした技術や仕組みを使うことができるよう、取り組んでいるところだ。

○事務局

- ・京都市のほうでも地域のICT化を支援する事業メニューもあり、区役所も一緒に取り組んでいる。これに関して、各学区の皆さんとも連携したいと考えている。
- ・まちづくり委員会についての取組もいくつか先行して進んでいる。今後の課題も含め、菊浜の事例を御紹介いただけないか。

○委員

- ・当学区では、目標を決め、防災をテーマに集中的に取り組んでいる。特徴的な取組としては、資料20頁にも掲載されているが、宿泊施設と一時避難の協定があり、要介

護者を受け入れてもらえるよう、一步踏み出したものになっている。

- ・自主防災会については、会長を兼任しているが、自主防災会の力のなさを感じる。1年で担当者が替わってしまうので、いざという場合、担当者にどれだけ知識があり、避難所運営等で協力できるかに不安があった。そこで、避難所については自主防災会とは別に「避難所運営委員会」を立ち上げ、自主防災会はこの委員会を手伝うという位置付けにした。
- ・先頃、第1回訓練を実施。最初からうまくいくはずがないので、みんなで取り組んで、課題を出し合い、後で反省会を行った。例えば段取りの悪さなどを文書化し、どこまで円滑にできるか、現状より少しでもよくしていきたいと思っている。課題は多いが、運営委員会が機能すれば、支援が届くまでの3日間の運営を円滑にできるのではないと思う。

○会長

- ・協定を結んだ宿泊施設としては、ホテルとも交渉をしたのか。

○委員

- ・2件のホテルとも協定を結んでいる。ただ、現在コロナで休業している施設もあるので、今後も交渉を進めたい。

○会長

- ・ホテルの場合、一般の宿泊客もいるが、避難には部屋を使わせてもらえるのか。

○委員

- ・もちろん宿泊客優先だが、空いている部屋、あるいは廊下などのスペースを使わせてもらえることになっている。

○会長

- ・交渉は円滑にいったか。

○委員

- ・例えば要介護者を受け入れて施設が汚れた場合にどうするのか、食料手配はどうするのか、など、厳格に決めようとする企業姿勢にもよる。あれもこれも支援できると言ってくれる施設もあるが、対応は全て地元でやってくれという施設もある。後者の場合、粘り強くやっていく必要がある。

○会長

- ・各地域でも関心をお持ちだと思う。うまくいくようであれば、ぜひ参考にしていきたい。
- ・第3期計画に御意見をいただくのは本日が最終だ。令和3年度～7年の5年間の計画だが、期間は既に始まっている。計画に御理解をいただき、ぜひ御協力をお願いしたい。
- ・それでは、本計画案をもって最終案とすることを了承いただけるか。

ー各委員が拍手で承認ー

○会長

- ・最後に今後の予定について事務局から説明をお願いしたい。

○事務局

- ・御意見を踏まえて最終的なとりまとめを行い、今後、京都市内部の手続きを進める。
市長決定を経て、8月中に冊子を作成し、皆さんにお届けしたいと考えている。本会議は今年度中にもう一度開催し、計画の進捗等について御報告したい。

○会長

- ・それでは、以上をもって本日の会議を終了する。

○事務局

- ・今後、最終案を計画として完成させていくが、この場だけでなく、お気づきのことがあれば、事務局まで伝えていただきたい。
- ・今秋には、衆議院選挙が予定されている。地域代表の皆様にはお力添え賜りますよう、よろしくをお願いしたい。

以上